(08.12)　T4-0001-07

ノーカットロータリー網戸　取付説明書

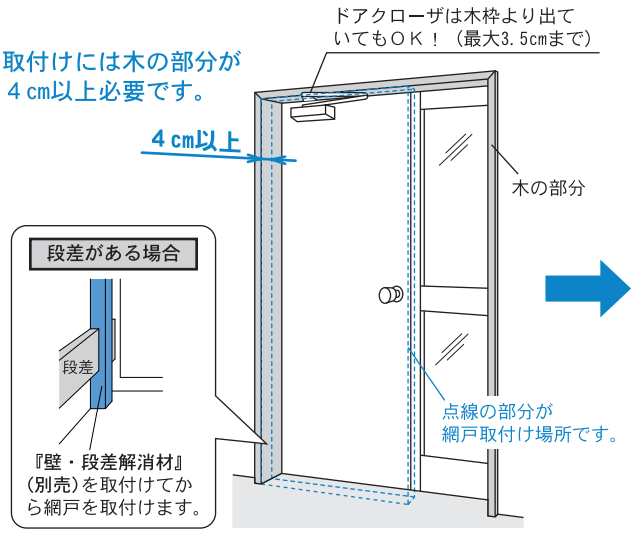
地球にやさしく　品質の向上へ
ISO 14001 9001 株式会社 川口技研
営業本部 〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048(255)5411　　FAX 048(255)8228
ホームページ http://www.kawaguchigiken.co.jp/

この度は、『ノーカットロータリー網戸』をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
取付ける前に、この取付説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。（要保管）

本製品を取付ける場所は、ドア室内側の木の部分です。

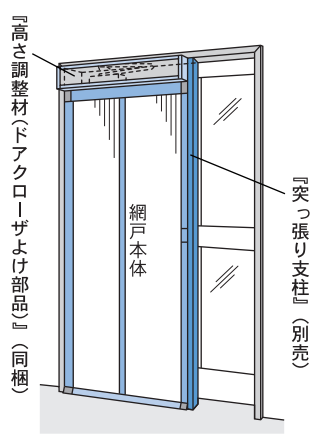
（木以外の場合）

壁紙	裏側の材質	木	○	ネジがきく場合は取付けできます。
		石膏ボード	×	ネジが空転してしまうため取付けできません。
スチール(鉄)・アルミ			×	そのままでは取付けできません。下穴開けが必要となります。
コンクリート			×	取付けできません。

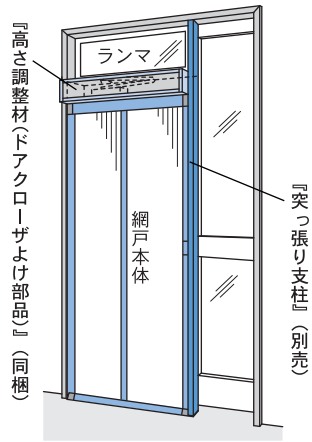


※図は袖付ドアの一例です。
◎ドアは右開きでも左開きでも取付け可

ランマなしの場合の取付け例



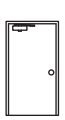
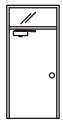
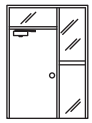
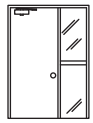
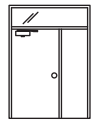
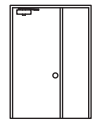
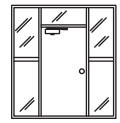
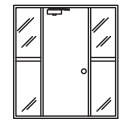
ランマありの場合の取付け例



◎網戸本体の高さは一定です。高さ調整は同梱の『高さ調整材(ドアクローザよけ部品)』で行います。
◎『突っ張り支柱』の必要数については下記をご覧ください。

ドアの形状と別売品『突っ張り支柱』について

※引戸の場合、バーハンドル等が突出しているものには取付けできないことがあります。

	ドア	ランマ付きドア	ランマ付き袖付ドア	袖付ドア	ランマ付き親子ドア	親子ドア	引戸※	ランマ付き両袖ドア	両袖ドア
姿図									
	そのまま取付けできます。	別売品『突っ張り支柱』１セットが必要です。						別売品『突っ張り支柱』２セットが必要です。	

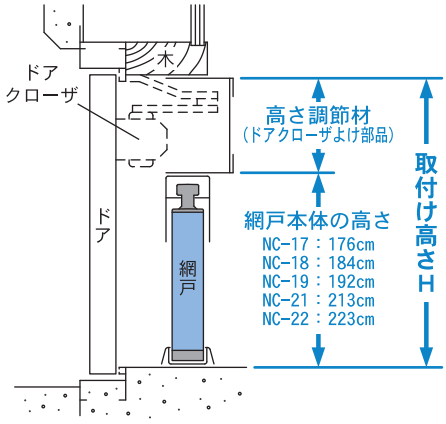
あらかじめ『突っ張り支柱』を取付けの上、本製品を取付けてください。

◎この表は金属・アルミ製ドアの場合です。木製枠ドアの場合、『突っ張り支柱』を取付けなくともそのまま取付く場合があります。

取　付　け　位　置

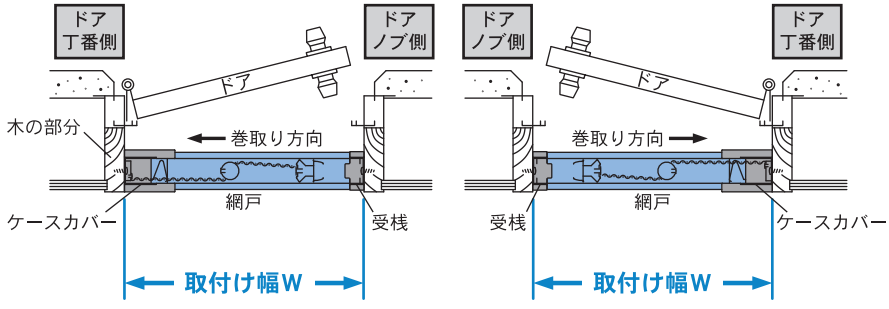
■高さ

網戸本体は切断せずに取付け、その上を高さ調節材(ドアクローザよけ部品)でふさぎます。



■幅

ドアの開きが左右どちらでも取付けできます。
どちらの場合も（ケースカバー：ドア丁番側／受桟：ドアノブ側）に取付けます。



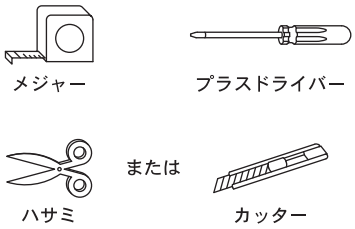
本製品を取付ける場所は、ドア室内側の木の部分です。

■製品対応寸法

品番	高さ(cm)	幅(cm)
NC-17	176 ～ 197	50 ～ 89
NC-18	184 ～ 205	50 ～ 89
NC-19	192 ～ 213	50 ～ 94
NC-21	213 ～ 234	50 ～ 94
NC-22	223 ～ 240	50 ～ 94

◎お求めになった網戸の品番と適応サイズをご確認ください。
◎色の数字は網戸本体の高さです。
(網戸本体(高さ方向)は切断しません。
幅方向(上レール・下レール)は切断します。)

■使用工具



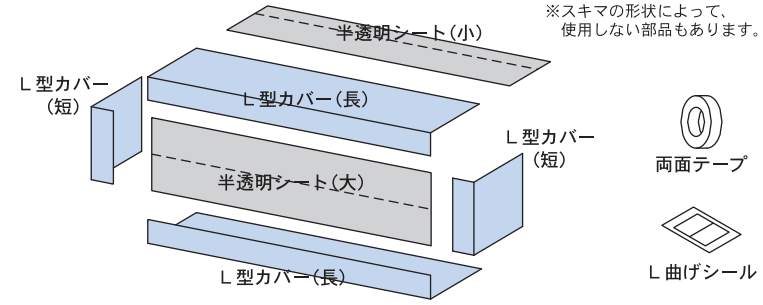
! 部材を切断する際や網戸を取付ける際は、ケガに十分ご注意ください。

部　品　一　覧

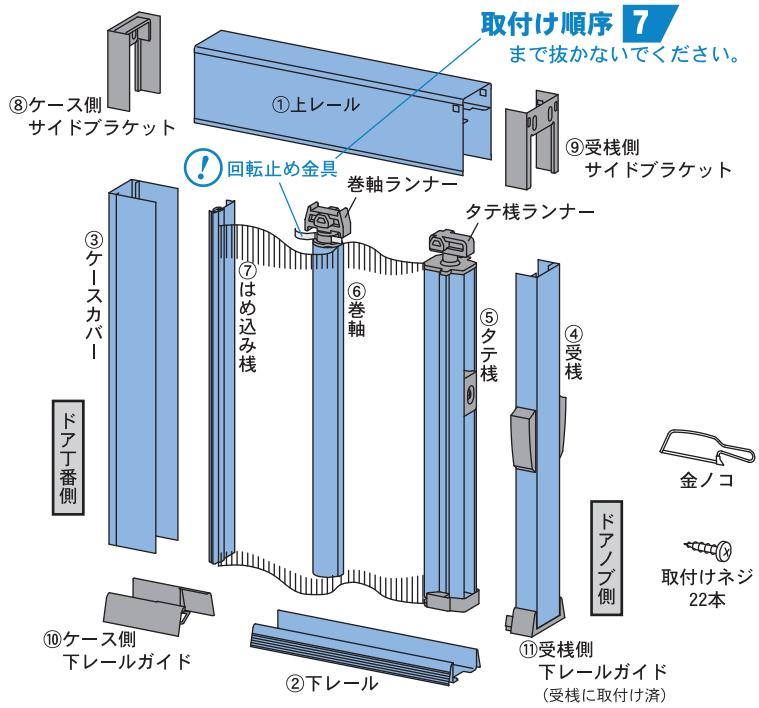
下記の通り部材がそろっているかご確認ください。

高さ調整材(ドアクローザよけ部品)

※スキマの形状によって、使用しない部品もあります。



網戸本体

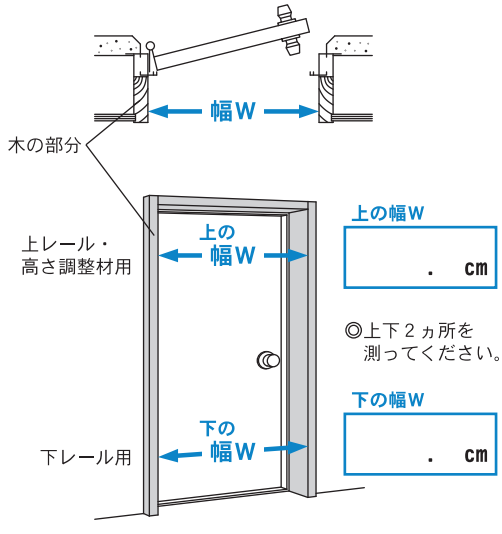


取　付　け　順　序

1 取付け幅を測り、レールを切断する

1 ドア室内側の木の部分の、内側の**幅W**を測ってください。

※別売品『突っ張り支柱』を使われるドアのタイプの方は、『突っ張り支柱』の説明書をご覧になり、幅Wを測ってください。

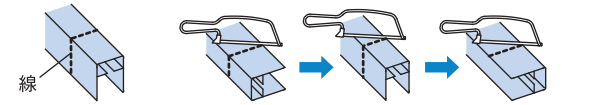


上の幅W ＿＿＿ cm

◎上下2ヵ所を測ってください。

下の幅W ＿＿＿ cm

直角に切断するために、各面に線を入れ1面ずつ順番に切断してください。



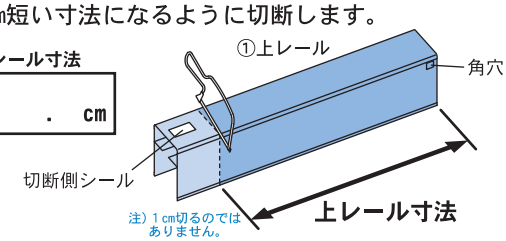
切断する時は力を入れず、軽い力で何度も往復させながら切断してください。

◎必ず『切断側シール』の貼ってある側を切断してください。
◎必要に応じて、切断面をケガのないようにヤスリで仕上げてください。

2 上レールの切断

測った**上の幅W**より1cm短い寸法になるように切断します。

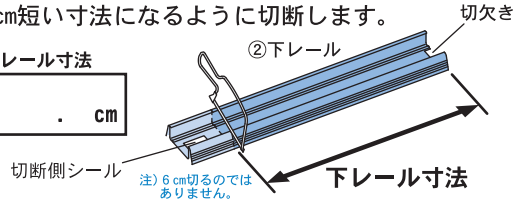
上の幅W ＿＿＿ cm − 1 cm(サイドブラケットの分) ＝ 上レール寸法 ＿＿＿ cm



3 下レールの切断

測った**下の幅W**より6cm短い寸法になるように切断します。

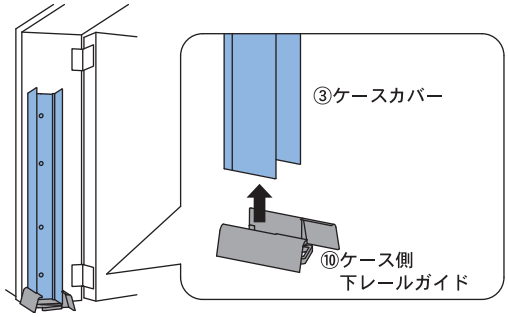
下の幅W ＿＿＿ cm − 6 cm(下レールガイドの分) ＝ 下レール寸法 ＿＿＿ cm



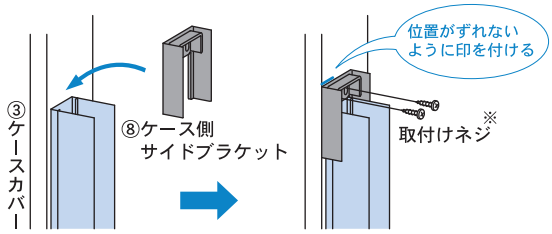
2 サイドブラケットの取付け

ケースカバー側（ドア丁番側）

1 ケースカバーの下にケース側下レールガイドをはめ込み、木枠にあてがいます。



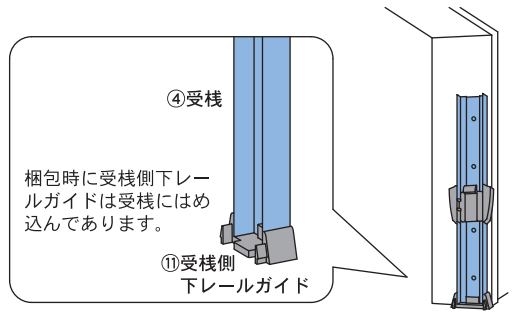
2 ケースカバーの上にケース側サイドブラケットをのせ、ブラケットのみを取付けネジ２本で固定します。
◎ブラケットとケースカバーにスキマがないようにしてください。



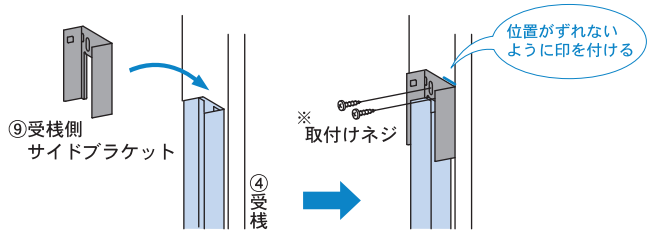
3 ケース側サイドブラケットを取付けた後、ケースカバーとケース側下レールガイドは、一旦はずしてください。

受桟側（ドアノブ側）

1 受桟側下レールガイドの付いた受桟を木枠にあてがいます。

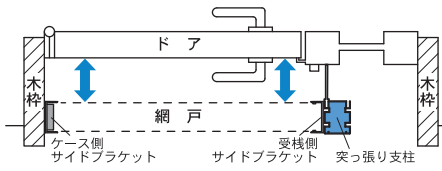


2 受桟の上に受桟側サイドブラケットをのせ、ブラケットのみを取付けネジ２本で固定します。
◎ブラケットと受桟にスキマがないようにしてください。



3 受桟側サイドブラケットを取付けた後、受桟と受桟側下レールガイドは、一旦はずしてください。

『突っ張り支柱』（別売品）をご利用の場合



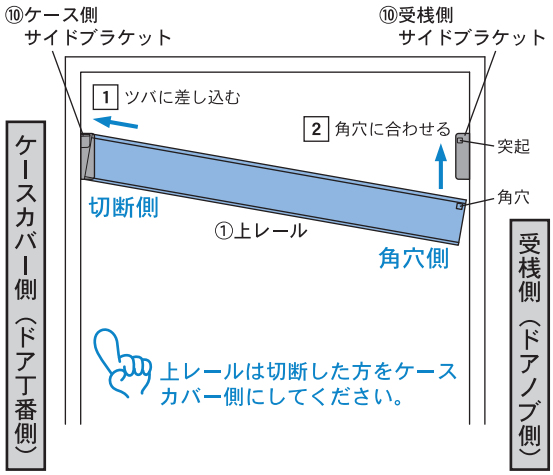
※支柱側に取付けるサイドブラケットは、『突っ張り支柱』付属の「網戸取付けネジ」で取付けてください。

※サイドブラケットは、『突っ張り支柱』の位置に合わせ、網戸がドアと平行になるように取付けてください。

3 上レールの取付け

1 上レールの切断側をケース側サイドブラケットのツバに斜め下から差し込みます。

2 次に受桟側サイドブラケットに上レールを下からはめ込みます。上レールの角穴にサイドブラケットの突起を合わせてください。



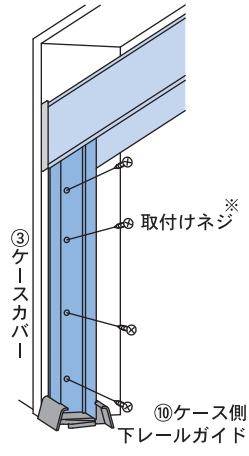
◎取付け後、上レールが水平であることを確認してください。

4 ケースカバー・受桟の取付け

◎ケースカバーと受桟は、垂直になるように取付けてください。

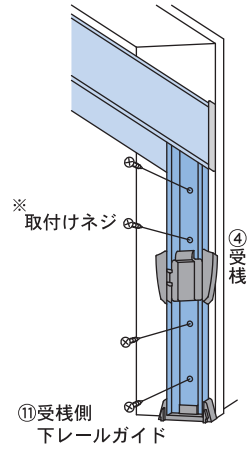
ケースカバー側（ドア丁番側）

ケースカバーとケース側下レールガイドを、ケース側サイドブラケットの下に置き、取付けネジで固定します。



受桟側（ドアノブ側）

受桟と受桟側下レールガイドを、受桟側サイドブラケットの下に置き、取付けネジで固定します。



※『突っ張り支柱』を取付けた場合、支柱側には『突っ張り支柱』付属の両面テープを使用してください。ネジは使用しません。

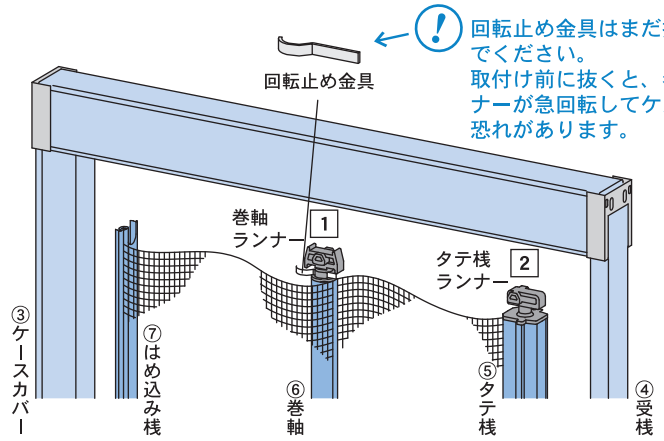
5 上レールにランナーを入れる

1 → 2 の順序で下図のように取付けます。

右図のように、巻軸に巻いてある網をすべて広げた状態で取付けを行ってください。

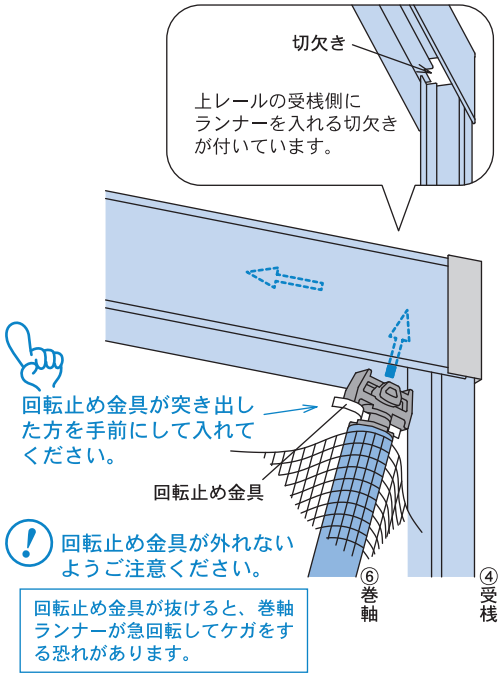
◎はめ込み桟は、ここではまだ取付けません。

取付け前に回転止め金具が抜けてしまった場合には、裏面の 回転止め金具の取付け方法 をご覧ください。



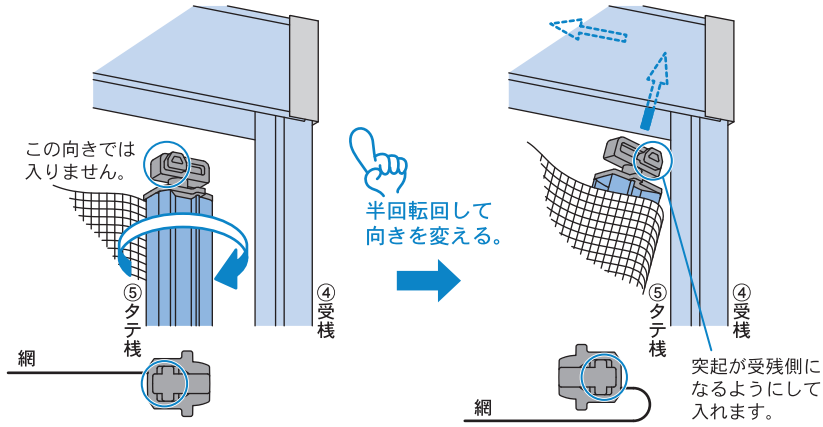
1 巻軸ランナーを入れる。

巻軸を図のように斜めにして、受桟側の上レールの切欠きより巻軸ランナーを入れます。

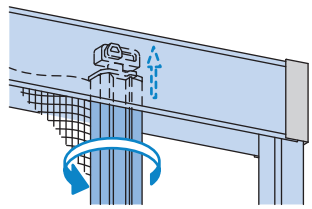


2 タテ桟ランナーを入れる。

(1) タテ桟を図のように半回転回して、上レールの切欠きから斜めにして入れます。



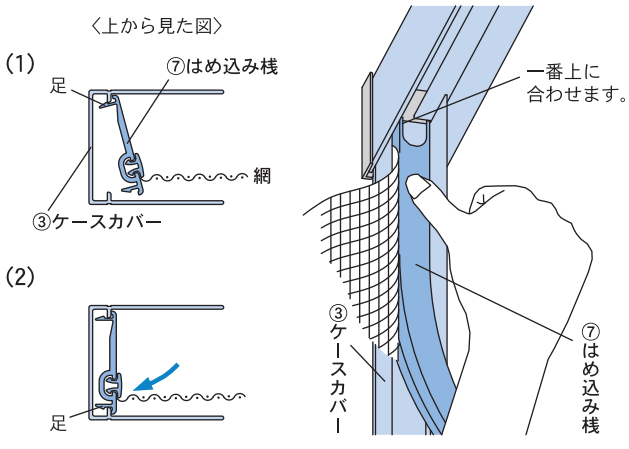
(2) タテ桟を上レールに押し付けながら、反転させて向きを戻してください。



これでタテ桟は抜けません。

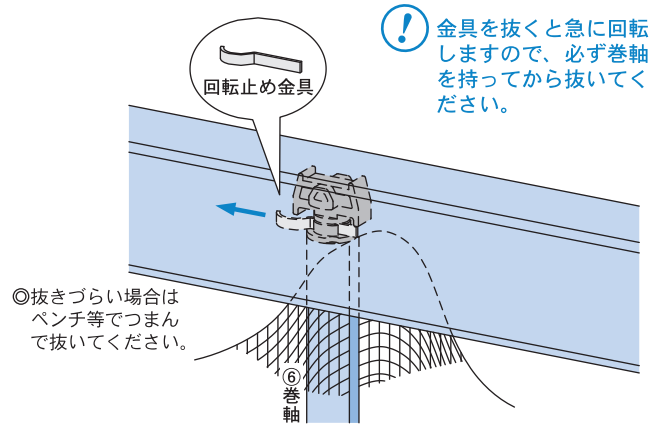
6 はめ込み桟をはめ込む

(1) はめ込み桟をケースカバーの中に図のように入れ、少し斜めにして網の付いていない側の足を先に入れます。
(2) 反対側の網の付いている側の足を強く押し込み、上から順にパチンパチンとはめ込んでいってください。



7 回転止め金具を抜く

(1) 巻軸を手で握って押さえます。
(2) 回転止め金具を矢印の方向に抜きます。
(3) ゆっくり手を離してください。
回転力が発生し、巻軸に網が巻き取られます。



◎回転止め金具は、網戸本体を取りはずす時やネット交換の時に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

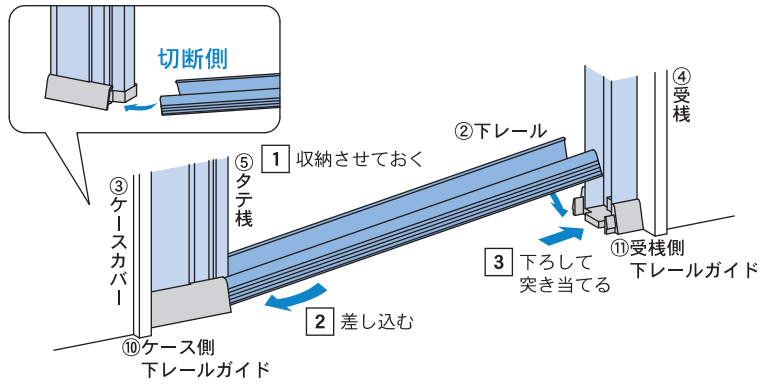
8 下レールの取付け

取付け前に下レール周辺をきれいに掃除してください。

1 タテ桟をケースカバー側に収納させます。

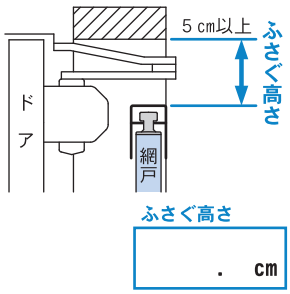
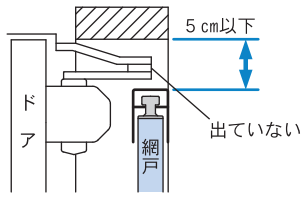
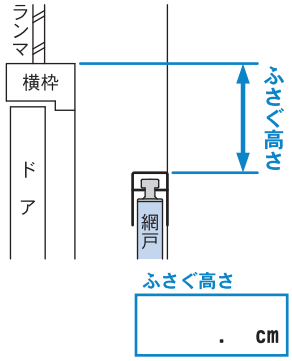
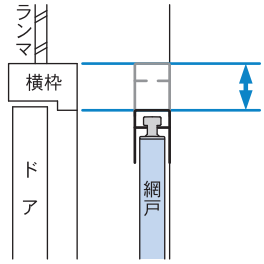
2 下レールの切断側をタテ桟の下にもぐりこませ、ケース側下レールガイドに差し込みます。

3 受桟側も下ろして受桟側下レールガイドに突き当てます。



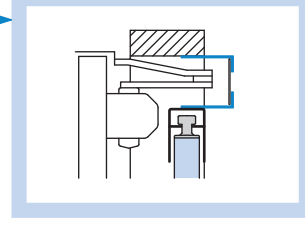
9 高さ調整材（ドアクローザよけ部品）の取付け

上レールの上のスキマの形状により、取付け方法が異なります。下記より選んでお取付けください。

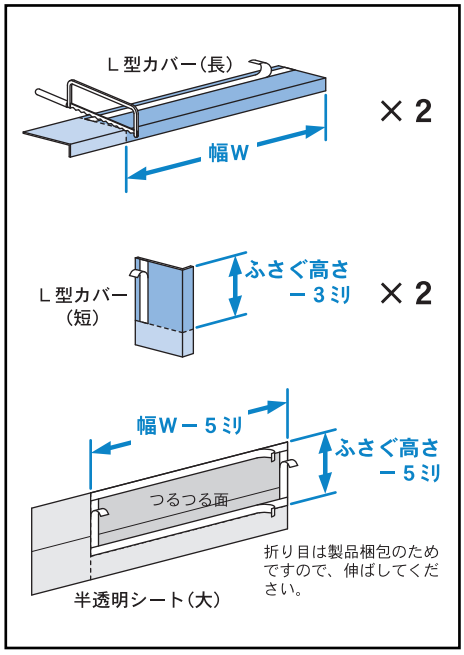
ランマなし		ランマあり	
スキマが 5 cm以上	スキマが 5 cm以下 かつ ドアクローザが木枠より出ていない	上レールがランマの横枠より下にある	上レールがランマの横枠の範囲にある
			
a をご覧ください。	b をご覧ください。	c をご覧ください。	d をご覧ください。

◎上レールと上額縁の間にスキマがない場合は、『高さ調整材（ドアクローザよけ部品）』は必要ありません。
取付けは完了です。

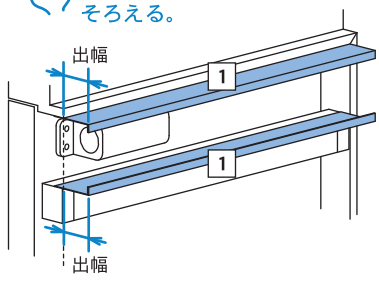
a ボックスを作ってふさぐ

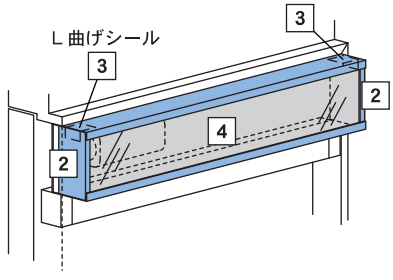


部材を切断して両面テープを貼ります。



出幅はそろえる。





1 L型カバー（長）を、ドアクローザに当たらない程度出幅を出して貼ります。

※ ドアクローザが出ていない場合は、出幅は0でOK！

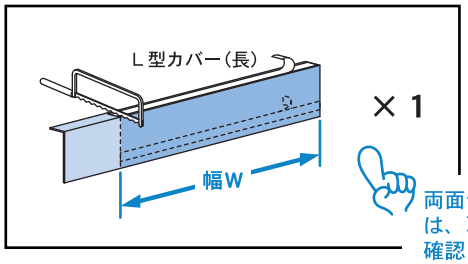
2 両サイドにL型カバー（短）を内側から貼ります。

3 上コーナー部に、内側からL曲げシールを貼り、箱型を補強します。

4 半透明シート（大）をボックスの内側から貼って完成です。

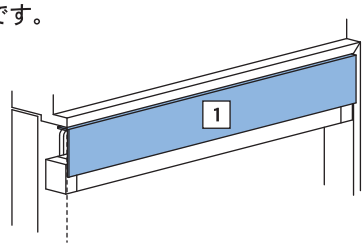
b L型カバー(長)のみでふさぐ

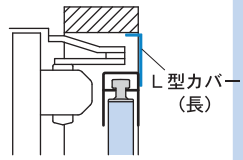
部材を切断して両面テープを貼ります。



両面テープの位置は、取付け位置を確認してから決めてください。

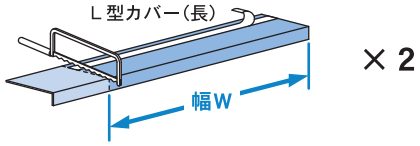
1 L型カバー(長)を、図の位置に貼って完成です。

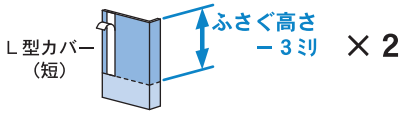


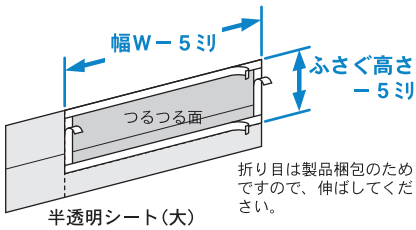


c ボックスと半透明シート(小)でふさぐ

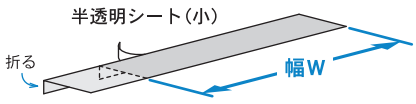
部材を切断して両面テープを貼ります。



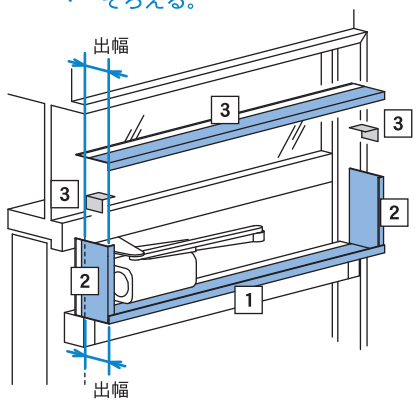


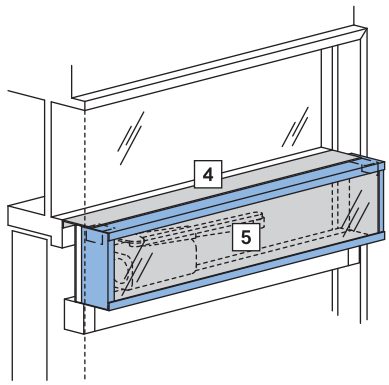


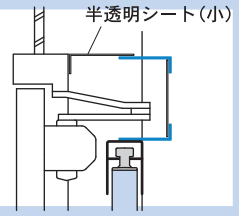
折り目は製品梱包のためですので、伸ばしてください。



出幅はそろえる。







1 L型カバー(長)を、ドアクローザに当たらない程度出幅を出して、上レールに貼ります。

※ ドアクローザが出ていない場合は、出幅は0でOK！

2 両サイドにL型カバー(短)を内側から貼ります。

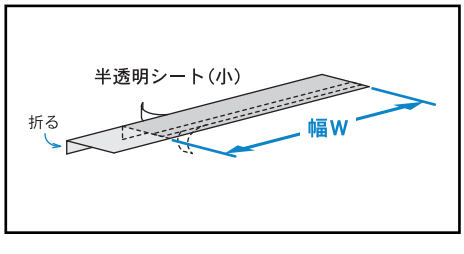
3 上側にL型カバー(長)をL曲げシールで固定します。
L曲げシールは、上コーナー部に内側から貼って、しっかりとした箱型を作ってください。

4 半透明シート(小)をランマの横枠と上側のL型カバー(長)に貼ります。

5 半透明シート(大)をボックスの内側から貼って完成です。

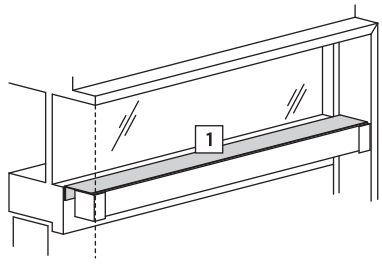
d 半透明シート(小)のみでふさぐ

部材を切断して両面テープを貼ります。

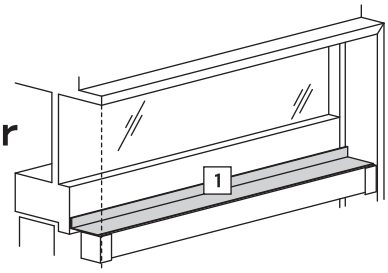


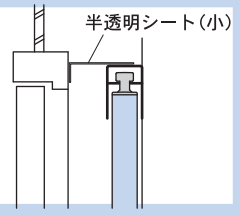
折り曲げる向きと両面テープの位置は、取付け位置によって異なりますので、まず取付け位置を確認してください。

1 半透明シート(小)をランマの横枠と上レールに貼ります。
向きは取付け位置により適当な方を選んでお取付けください。



or





取　扱　い　説　明

－安全上のご注意－

●ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告　・・・この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意　・・・この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容

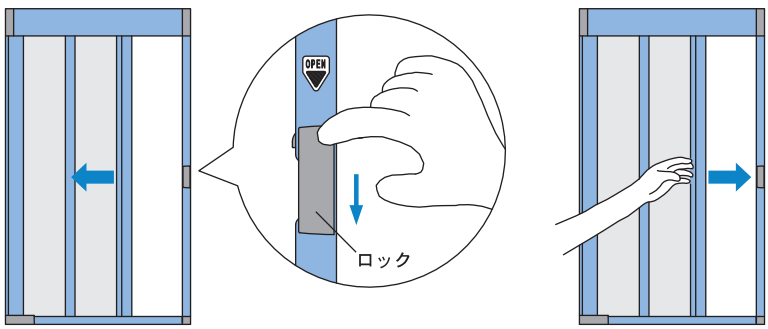
⚠警告	・網戸に寄りかかったり、蹴る等の強い力ををかけないでください。 網戸のはずれ等につながり、ケガをしたり損害を与えることがあります。 ・本製品のロックは、防犯には役立ちません。戸締り時は必ずドアを施錠してください。 ・ネットにタバコの火などの火気は絶対に近づけないでください。
⚠注意	・強風時には使用しないでください。風により自動収納しない場合があります。 ・網戸を開閉する際、指を挟まないようにご注意ください。 ・無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、ケガや破損の原因となりますのでご注意ください。 ・下レールにゴミ等がたまると網戸がスムーズに開閉できなくなります。 下レールとその周辺はこまめに掃除してください。

－お手入れ方法－

●日常的には、乾いた布で拭いてください。
●汚れがひどい場合には、中性洗剤で洗い、その後カラ拭きしてください。
●シンナー、ベンジン、アルコール、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。
●たわしや金属ブラシ等でこすらないでください。破損やキズの原因となります。
●ネットが破損した場合には、『交換ネット「ノーカットロータリー網戸用』（別売品）を販売店よりお求めください。

■網戸の開閉操作方法

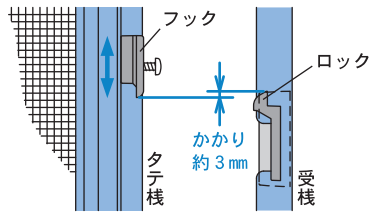
開けるとき　受桟のロックを指で軽く下げてください。



閉めるとき　タテ桟の中央を持って丁寧に操作し、ロックにかけてください。
ロックのかかりが悪いときは下のように直してください。

ロックのかかり調整

フックのネジを少し緩め、ロックとのかかりが約３㎜になるように、フックをずらして調整してください。
再びネジを締め直します。（強く締めすぎると空転する恐れがありますので適度な力で締め付けてください。）



■下レールの脱着方法

掃除するときや長時間網戸を使用しないときは、下レールをはずしておくことができます。

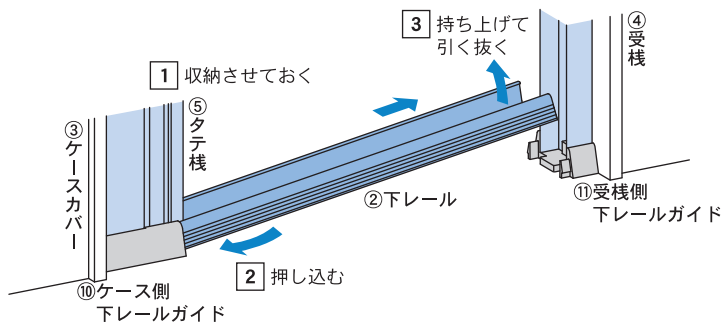
1　網戸をケースカバー側に収納させます。

2　下レールを持って、ケース側下レールガイドに押し込みます。

3　受桟側を持ち上げて引き抜きます。

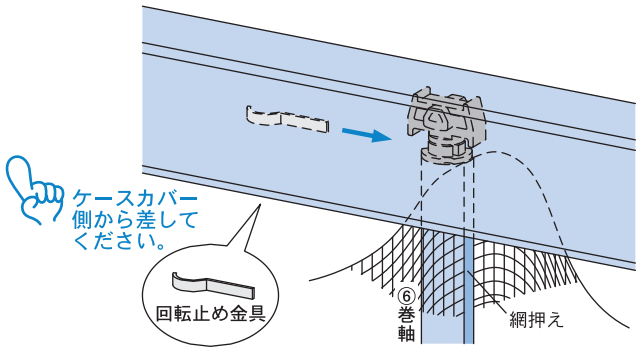
◎再度取付ける際は 8 の作業を行ってください。

ⓘはずした下レールはなくさないようご注意ください。



■網戸本体をはずす場合

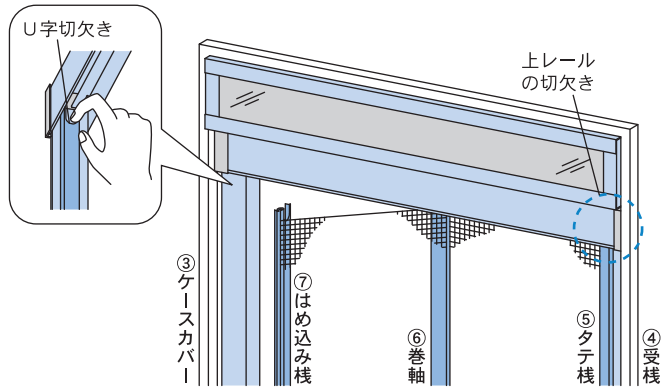
1 巻軸を手に持ち、なるべく網を広げる方向に回します。
巻軸の網押えを上レールと同じ方向に向けた状態で、回転止め金具を巻軸ランナーに差し込んでください。



◎回転止め金具がうまく差し込めない場合には、そのまま取りはずしてください。

回転止め金具を差し込まずに網戸をはずすと、巻軸ランナーが急に回転しますので、十分ご注意ください。

2 はめ込み桟をケースカバーからはずします。上部のU字切欠きを利用してはずしてください。



3 タテ桟を **5** の **2** の作業を逆に行って、上レールの切欠きよりはずしてください。

4 巻軸を上レールの切欠きよりはずしてください。

■再度、網戸本体を取付ける場合

5 **6** **7** の作業を行って網戸本体を取付けてください。

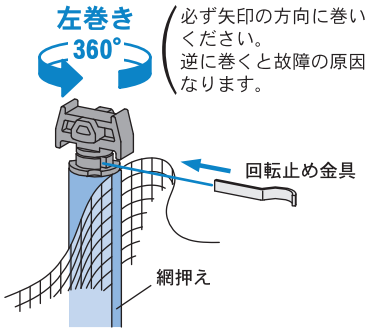
回転止め金具が抜けてしまった場合や、回転止め金具を差し込まずに網戸をはずした場合は、まず下の方法で回転止め金具を取付けてください。

回転止め金具の取付け方法

弱
２０回転
〜
普通
２２回転
〜
強
２５回転

あまり強く巻くと、巻き取りスピードが速くなり、指を挟んでケガをする恐れがありますのでご注意ください。

３０回転以上は巻かないで！
中のバネが変形したり、切れたりする恐れがあります。



◎はじめは約２２回転に設定されています。回転力の強さを変えたい場合には、必ず一旦巻いてあるバネを解除して、最初から巻き直してください。

1 巻軸ランナーを矢印の方向に２２回転位回します。

途中で手を離すと、巻軸ランナーが急に回転しますので十分ご注意ください。

2 図のように巻軸ランナーの向きを網押えと合わせて、回転止め金具を差し込みます。

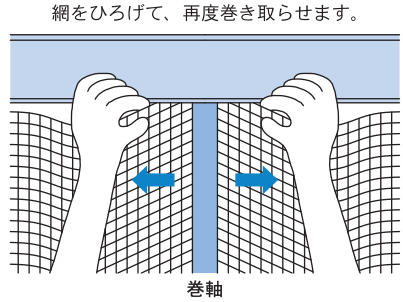
回転止め金具をなくしてしまった場合

巻軸ランナーを巻いた後、回転が戻らないように指でしっかりと押えながら、上レールの切欠きより入れてください。

■その他、こんな場合のチェック方法

● **網にシワができるとき・・・**

右図のように一旦、網をひろげてシワを取り、巻軸に巻き取らせます。



● **網戸の動きが悪いとき・・・**

上下レールがずれていないか、ケースカバー・受桟が垂直であるか確認してください。

それでも動きが悪い場合には、潤滑剤（市販の油性またはシリコーン性のものが便利です。）を布に付けて、上レールの溝および下レールを拭いてください。
その際、網に潤滑剤が付かないように注意してください。